エピローグ　No6

みんなの結論は…ハリーを犯人として拘束することであった。

彼は抵抗することなく捕らえられ、夕刻に到着した警察に引き渡された。

元警察官の猟奇的殺人として、当初はテレビや週刊誌を沸かせたが、事件の捜査が進むにつれ、【彼は犯人ではない】とされ、早々に釈放される事になる。

あの事件では、みんながおかしくなっていた。

実際の所、私もあの夜の出来事をよく覚えていない。

事件のあった夜、確かに私はナイフをにぎり、ジャックを刺した。いや、刺したと思い込んでいた。後で分かったことだが、実際にはジャックを軽く傷つけただけで、逆にナイフを奪われていた。

数か月後、殺人容疑で逮捕されたロンは語った。

彼がジャックを見た時、彼はキャシーを襲っていると思ったというのだ。

あの時、私は双子の妹であるキャシーの姿に変装していた。だから彼は勘違いしたのだ。

私は長い間悪夢をみている。それは覚めることのない…永遠の悪夢を。

しかしそれも終わりになるだろう。

ジェシカの遺書より